



—東地中海地域ニュース—

シリア・サウジアラビア：アブドゥラー国王のシリア訪問

(10月8日付シリア国営通信社他)

10月7～8日、アブドゥラー・サウジアラビア国王がシリアを訪問し、同国のバッシャー大統領と3度にわたり会談した。現地報道の概要は下記の通りである。

1. バッシャー大統領とアブドゥラー国王の会談

- (1) 両首脳は会談で、両国、両国民、及びアラブとイスラム世界の人民の利益に資するよう、シリア・サウジ関係の水準を高めていくための作業を継続することの重要性を強調した。
- (2) 両首脳は、できるだけ早期に両国合同高等委員会を開催する必要性に合意した。又、両国民の希望に見合うよう、新たな地平を開き、相互投資に関する両国のビジネスを推進し、経済・貿易協力を活性化させる重要性についても意見が一致した。
- (3) パレスチナ被占領地における悲劇的な状況に関し、両首脳はパレスチナ人に対して継続中の攻撃を停止すること、エルサレムをユダヤ化するイスラエルの占領に対し措置を講じること、及びアクサー・モスクの封鎖を解除するために、アラブ及びムスリムの努力を結集させることが必要であることを確認した。
- (4) レバノンに関し、両首脳はレバノン国民の間の和解を推進すること、及びレバノンの安定、統一、強化の基礎である挙国一致内閣の形成を通じて、レバノンの利益に資するべく意見の収斂を模索することが重要であると強調した。
- (5) イラク情勢に関し、両首脳はイラクの治安と安定に対する熱意を強調すると共に、イラクの領土的統一を維持し、且つ、イラクの独立、自由、繁栄のための主要素である国民的和解を達成するためのあらゆる努力を支持すると述べた。
- (6) 双方はアラブ共同行動推進とアラブ及びイスラムの大義と利益に資するアラブの強固な団結のため引き続き努力することに対するコミットメントを強調した。又、このことを達成するために、相互に連携と協議を行っていくことへの意欲を表明した。

2. シリア・サウジアラビア両国大臣レベルの会談

- (1) シリアのフセイン財務相は、サウジのアッサーフ財務相と会談し、銀行、保険、課税、関税などの財務分野における協力に新たな協力を求めた。
- (2) シリアのビラール情報相は、サウジのハウジャ文化・情報相と会談を行い、両国及びアラブ諸問題に資する両国報道機関の協力と対外報道の調整につき協議した。
- (3) シリアのアーリフ社会・労働相は、サウジのゴサイビ労働相と両国間の協力について会談を行い、サウジにおけるシリア人労働者問題とともに、労働資源配分、労働者の権利保護、失業対策について協議をした。